ログクラフト事業協同組合

ログハウス「信玄ログ」の新たな販売戦略

ACTIVE KUMIAI

南部町にあるログクラフト事業協同組合(齋藤友一理事長)は、これまで生産販売していた18㎝の角材を組んだログハウスを「信玄ログ」と命名し、新たな販売展開に取り組むこととなった。

3坪ログハウスは、建坪が3坪以内であるため一般住宅に必要な建築確認が不必要であり、腕に自信のある人なら自分で設置することも可能である。そのため比較的安価での販売が可能であることに加え、塗装などを行っていない未完成の状況で引き渡しを行い、購入者が自分だけのオリジナルのログハウスを作成するなど、様々なバリエーションでの販売を行うことを目指してきた。

組合では、この3坪ログハウスを中心に新たなパンフレットを作成し、販路拡大に取り組んでいる。「信玄ログ」というネーミングは、昨年5月から山梨英和大学学生と取り組んできた「学生ビジネスマッチング事業」で学生が考えたアイディアであり、今後、組合としては全てのログハウスを「信玄ログ」として販売する方針となった。

このネーミングは、組合が販売する全てのログハウスに県産材を利用していることから、甲斐の戦国武将「武田信玄」をイメージして名付けられた。

また、キャッチコピーについてもログハウスの特長を風林火山に関連づけて作成した。

「風　疾きこと風の如く」
→1週間ほどで完成します！

「林　徐かなること林の如し」
→防音効果があります！

「火　侵略すること火の如く」
→準防火基準をクリアしています！

「山　動かざること山の如し」
→18㎝角の無垢材のた重量感があります！